

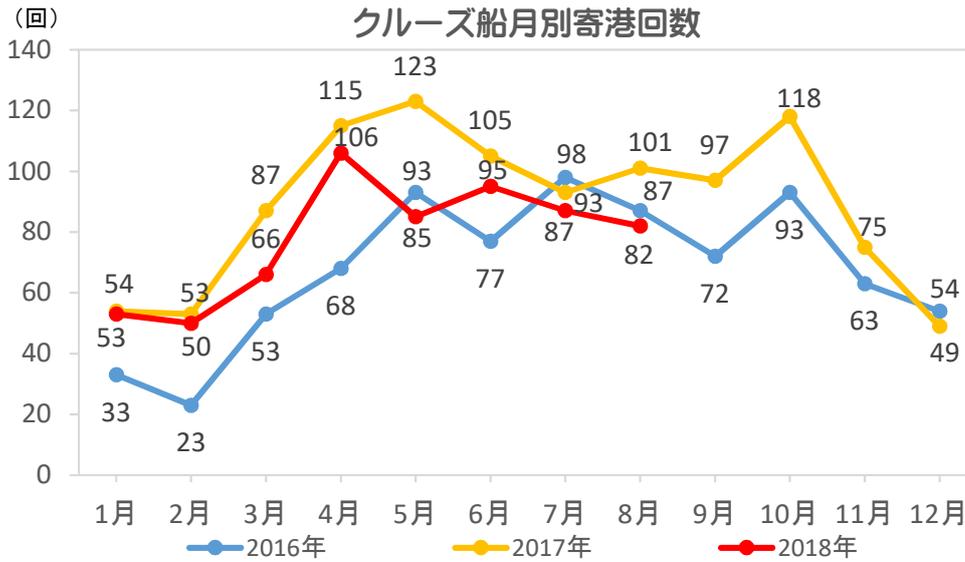
平成30年9月20日
九州地方整備局

九州クルーズレポート (9月号)

2018年(平成30年)九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数

● 8月までの速報値 前年同期比 14.6%減の 624回

- ・2018年8月の九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数は、前年同月比 18.8%減の 82回。
- ・2018年8月までの九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数は、前年同期比 14.6%減の 624回。



クルーズ船の寄港回数	九州管内 (山口県下関港を含む)														参考:全国			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~8月合計	1~12月合計	8月	1~8月	1~12月合計	
2016年	外国船社	30	23	45	59	82	72	87	82	64	64	57	50	480	715	179	1,031	1,443
	日本船社	3	0	8	9	11	5	11	5	8	29	6	4	52	99	66	356	574
	計	33	23	53	68	93	77	98	87	72	93	63	54	532	814	245	1,387	2,017
2017年	外国船社	51	53	71	104	106	101	84	98	91	86	65	47	668	957	218	1,439	2,013
	日本船社	3	0	16	11	17	4	9	3	6	32	10	2	63	113	73	433	751
	計	54	53	87	115	123	105	93	101	97	118	75	49	731	1,070	291	1,872	2,764
2018年	外国船社	49	50	53	95	77	89	76	79					568	568	190	1,386	
	日本船社	4	0	13	11	8	6	11	3					56	56	100	635	
	計	53	50	66	106	85	95	87	82	0	0	0	0	624	624	290	2,021	
前年同月比伸び率 (%)	外国船社	-3.9	-5.7	-25.4	-8.7	-27.4	-11.9	-9.5	-19.4					-15.0	-40.6	-12.8	-3.7	
	日本船社	33.3	-	-18.8	0.0	-52.9	50.0	22.2	0.0					-11.1	-50.4	37.0	46.7	
	計	-1.9	-5.7	-24.1	-7.8	-30.9	-9.5	-6.5	-18.8					-14.6	-41.7	-0.3	8.0	

出所: 港湾管理者からの聞き取りに基づき九州地方整備局で作成

各港における8月までの寄港回数(計:624回) ※寄港回数は平成30年9月1日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
博多	182回	北九州	24回	油津	9回	三角	2回	敵原	1回	湾	1回
長崎	154回	宮之浦	19回	細島	4回	西之表	2回	牛深	1回		
佐世保	72回	八代	17回	唐津	2回	与論	2回	本渡	1回		
鹿児島	70回	名瀬	15回	福江	2回	伊万里	1回	宮崎	1回		
下関	25回	別府	13回	熊本	2回	郷ノ浦	1回	古仁屋漁港	1回		

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

クルーズ振興・港湾物流企画室長 河野 正文 (かわの まさふみ)

課長補佐 西坂 博文 (にしざか ひろふみ)

TEL:092-418-3340 (代表)

TEL:092-418-3379 (直通) FAX:092-418-3037

●日本船社のクルーズ船「にっぽん丸」と「ばしふいっくびいなす」が下関港に同時寄港！

日本船社の商船三井客船が運航する「にっぽん丸」（総トン数22,472）と日本クルーズ客船が運航する「ばしふいっくびいなす」（総トン数26,594）が8月13日に下関港へ相次いで寄港しました。両船は、毎年開催される「関門海峡花火大会」を観覧するために立ち寄ったもので、港では、歓迎行事や地元特産品の販売が行われました。両船の歓迎セレモニーには、下関市長や関係者らが出席し、両船船長らに花束等を贈呈したほか、乗船客向けに地元銘菓がプレゼントされました。

一方、乗船客は船内での歴史体験紙芝居や市立博物館による歴史講話に耳を傾けたり、夜には、打ち上げられる花火を鑑賞したりして、終止楽しんでいました。



写真奥「にっぽん丸」、手前「ばしふいっくびいなす」 下関港同時寄港時の様子



「にっぽん丸」船内で紙芝居を鑑賞する乗客ら



「にっぽん丸」船上デッキで花火を鑑賞する乗客ら

●「さようなら！スカイシー・ゴールデン・エラ」 佐世保港と博多港へ最終寄港！

中国のスカイシー・クルーズ社が運航する「スカイシー・ゴールデン・エラ」（総トン数71,545トン）が、8月27日に佐世保港へ、8月31日に博多港へ寄港しました。2015年5月の営業運航を開始して以降、同船は2015年に55回、2016年に91回、2017年に66回と、九州管内港湾への寄港頻度の高いクルーズ船の1つでありましたが、同社は、8月29日に上海を出港するクルーズを最後に事業撤退することになりました。そこで、同船が頻繁に寄港していた両港では、最終寄港セレモニーが盛大に行われ、見送りの際、イベントを実施するなど、同船との別れを惜しみました。

佐世保港では、佐世保市長ら地元関係者が度重なる寄港に対して謝意を示した上で、佐世保港での再会を呼びかけました。また、出港前セレモニーでは、同船ダンスチームが飛び入りで参加し、地元市民、乗船客と本船が一体となったファイナーレとなりました。一方、最終寄港地となった博多港では、福岡市副市長や同社CEOがそれぞれ、感謝の気持ちを伝えました。その後、同市から船社に記念品が贈呈され、また双方の関係者が出席した昼食会や出港セレモニーも行われました。同市関係者は、「寂しい思いと同時に、本船を無事に送り出すことが出来て感慨深い」とのことでした。



「スカイシー・ゴールデン・エラ」（佐世保港）



記念撮影の様子

中央奥左：佐世保市 朝長市長
中央奥右：同社 ケン・マスカットCEO



本船ダンスチームによる演技（佐世保港）



記念品贈呈の様子

左：福岡市 中園副市長
右：同社 ケン・マスカットCEO



見送られる「スカイシー・ゴールデン・エラ」（佐世保港）

九州管内港湾におけるクルーズ客船寄港回数と乗船客数(8月実績)

港湾名	寄港回数	乗船客数	港湾名	寄港回数	乗船客数	港湾名	寄港回数	乗船客数
博多	25回	63,653人	佐世保	11回	24,229人	下関	2回	880人
長崎	21回	79,424人	北九州	4回	12,243人	別府	2回	4,333人
鹿児島	13回	46,756人	名瀬	3回	6,568人	宮之浦	1回	411人

※寄港回数及び乗船客数は、平成30年9月1日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

※乗船客数は、一部の港湾において概数表記されている場合があります。

「クルーズ振興」に関する情報提供HP

●国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/cruise_report/cruise_report.html

→ 九州管内(下関港含む)のクルーズ振興に関する情報を公表しています。公表済み「九州クルーズレポート」もこちらから確認できます。

●国土交通省 港湾局

http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk4_000019.html

→ 日本国内のクルーズ振興に関する情報を公表しています。我が国港湾のクルーズ客船等の動向や寄港回数のほか、各地のクルーズレポートも確認できます。

